

# 平成30年度 佐敷中学校 学校版環境ISOの取組

## 1 環境ISO宣言

### ●生徒集会での宣言



### 生徒の宣言項目と数値目標

- 1 水を節水します。(歯磨き用コップ及び掃除の際にバケツを使用:他者と協力する態度)
- 2 電気を節約します。(使用していない教室や清掃時は照明やエアコンのスイッチを切る:他者と協力する態度)
- 3 紙やゴミをきちんと分別し、ゴミの減量を呼びかけます。(多面的、総合的に考える力)
- 4 エコ活動に進んで取り組みます。(グリーンカーテン、再生チョーク作り(多面的、総合的に考える力))

- 1 節水 平成29年度比(基準年度)5%削減  
2 節電 昨年度比5%削減

### 職員の宣言項目と数値目標

- 1 両面印刷を心がけ、紙の消費を減らし、二酸化炭素排出量の削減に努めます。(多面的、総合的に考える)
- 2 OA機器のスイッチをこまめに切るなど電気を節約します。(他者と協力する態度)
- 3 紙やゴミをきちんと分別します。(多面的、総合的に考える力)

- 1 紙の消費 平成29年度(基準年度)比5%削減  
2 OA機器 平成29年度(基準年度)比5%削減  
3 分別 人数把握9割

## 2 行動

### ●環境・美化委員会の発表



環境・美化委員会として、この1年間の取組の内容を生徒集会で全校生徒に紹介した。本年度は学校で行っている環境に関する活動を委員会の生徒で役割分担しながら発表した。

### ●掃除バケツと歯磨きコップの使用



掃除の時間は、節水バケツを使って掃除を行っている。また、給食の時間は、残飯0を目指すとともに、終了後の歯磨きも水を節約するためにコップを使用している。水道近くには節水を呼び掛けるポスターを掲示し、意識できる工夫をしている。

### ●縦割り班による無言清掃



新学期初めに、環境・美化委員会が、全校生徒へ掃除ガイダンスを行い、縦割り掃の目的や分担や方法、反省会の方法を確認して清掃に取り組んだ。



### ●ごみの分別とゴミの削減

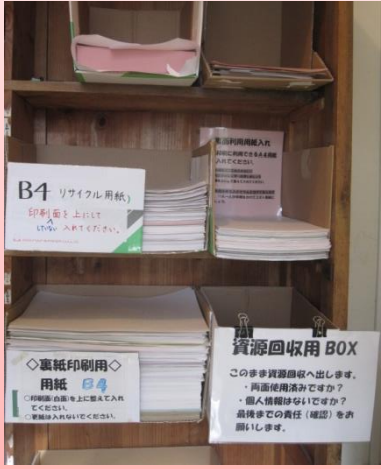


環境・美化委員会の呼びかけでペットボトルキャップ回収を行った。また、ゴミ箱の設置を各階に1つだけにし、ゴミの量削減に努めている。ゴミステーションには、その他の分別回収のゴミ箱を用意している。



気持ちの良い学習環境づくりを全校生徒で行うために、掃除開始1分前に班ごと黙想を行い、無言清掃に努めている。

### ●裏紙の再利用(職員)



印刷室の棚に種類別に紙を整理し、両面印刷や裏紙の再利用に取り組んでいる。また、コピー使用枚数の削減にも意識して取り組んでいる。

### ●環境ISOチェック用紙(抜粋)と環境新聞の発行

行動項目	1週目 ( / )	2週目 ( / )	3週目 ( / )
1. エアコンの切忘れ0にします。			
2. 電気の切忘れ0にします。			
3. 電明について学習します。			
4. 校舎・校庭の美化作業に積極的です。			
合計			

★目標が達成できていたら○、できていなかったら△

○3-2-1のつかけ  
できていない人が75%以上→3 50%~80%未満→2 20%未満→1

環境ISO取組の振り返りとして宣言項目に対する具体的内容について、評価を全校生徒で取り組み、環境・美化委員が集計を行っている。また、定期的に環境新聞を発行している。

環境ISO取組の振り返りとして宣言項目に対する具体的内容について、評価を全校生徒で取り組み、環境・美化委員が集計を行っている。また、定期的に環境新聞を発行している。

## 4 その他の取組

### ●花壇の花植え、緑のカーテンの取組



環境・美化委員が中心となって、季節ごとに花壇の花苗植え替えを行っている(パンジー・ビオラ・ナデシコ・ノースポールなど)。また、夏休みも継続して花の水やりを行った。夏には、ゴーヤで緑のカーテンを作り、見た目の涼しさや節電につながる取組を行った。

### ●学級への生け花設置



地域のボランティアの方々の協力を得て、環境・美化委員の生徒が、毎週月曜日の朝、生け花を各教室や玄関等に設置している。

### ●美化作業の実施

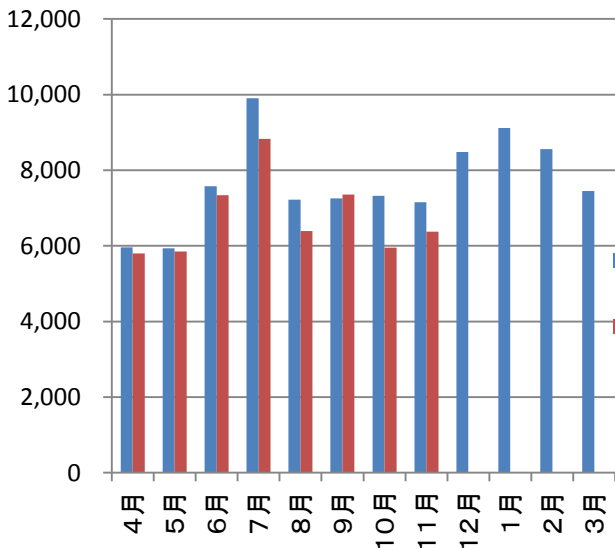


5月と8月に全校生徒が保護者と一緒に校内の美化作業を行っている。

## 3 チェックと記録

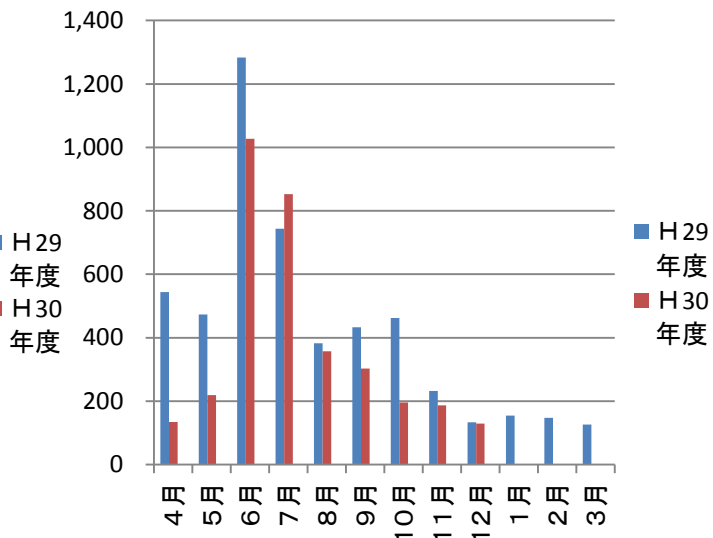
月ごとの電気使用量

電力量(kWh)



月ごとの水道使用量

水道使用量(m<sup>3</sup>)



## 5 成果と課題

○環境ISO宣言項目「水を節約します。」「電気を節約します。」の項目において、今年度の夏は記録的な暑さにも関わらず、電力量、水道の使用量ともに、昨年度よりも減少している月が多かった。これは、夏場にゴーヤを使った緑のカーテンにより、太陽の日差しをやわらげて校舎の温度上昇を抑えたからではないかと思う。エアコンへの負荷軽減による節電効果が確認された。また、環境・美化委員からの節電や節水の呼びかけにより、生徒が環境に関して意識した生活を送ったことでこのような結果につながった。

●年間通して、環境・美化委員会の活動として学級花壇の手入れを行っている。今後は、環境美化委員会から各学級へ積極的に呼びかけ、学級花壇への関心を持たせる必要がある。

●全校生徒の環境に対する意識を継続して高めるため、環境・美化委員を中心として環境コーナーの充実など環境を考えて生活する具体的な取組を今後、新しく考えていく必要がある。